

明日、金曜いっぱいまでに削除されない場合

(杉本氏がヴィオロンに期限を切ってブログ記事の削除を要求して恫喝して来たメール)

差出人: 杉本徳久 Sugimoto Norihisa (sugimotonorihisa@gmail.com)

送信日時: 2012年3月8日 8:02:16

前略、〇〇様、

杉本です。

以下、3つ、一度はサムライファクトリーから削除されたものを丸ごとコピーして復活させた新ブログを含め、このような対応をされていることを残念に思います。

<http://exorientteetlux.ni-3.net/>

<http://livingstreems.client.jp>

<http://livingstreems.client.jp/prestuplenie.html>

十分、機会をご用意しましたし、十分な期間もとりましたが、なお、お考えが変わらないようならば、あなたの実名を公開し、あなたの住所、あなたの実家の住所などを調べて内容証明、書留郵便を送るべく準備にはいります。

相変わらず、一方的で上から目線の命令口調である。ちなみに、筆者の実名を無断で公開すると脅して来た人間は、杉本氏の他には誰もいないことから、実際に犯行に及んだのも、この人物であると見られる。ただし、ここで記されている内容証明や書留郵便など一通も届いていない。こうした脅しも馬鹿げたこけおどしに過ぎず、一体、何の内容証明なのか、具体的な内容さえ記されていない。それも当然である。たとえどんな弁護士に相談したとしても、筆者を訴える文面は作成してもらえなかっただろう。なぜなら、罪を犯しているのは筆者ではなく、杉本氏であることが明らかだからである。杉本氏は、こうして密室の暗闇で相手に送り付けるメールの中で大袈裟に喚き立てることができるだけで、実際には、弁護士や裁判を含め、公の場では全く相手にされていないのである。

サムライファクトリーからも削除依頼の照会について  
返答の書類も届きました。

杉本氏がここで記している侍ファクトリーからの返答とは、杉本氏の削除依頼には応じられないという削除拒否の内容である。杉本氏は、一度は筆者のブログを削除することに成功したが、それは筆者がプロバイダからのメールに気づかず、回答期限が過ぎてしまったためであり、ブログ内容には何ら問題がないため、削除されたブログは別のアドレスに復元した。その後、杉本氏は復元されたブログに対して二度目の削除要請を出して来たが、筆者からの反論により同氏の削除依頼は退けられた。

その後のあなたに降りかかる不利益は全て自ら招いたこと  
としてあなた自身が引き受けることになります。

相変わらず、脅し文句のオンパレードである。憎しみ以外に、人に関わる動機はないのであろうか。こういう陳腐で大袈裟な啖呵を切ることでは、他者と関われないところが、心底、異常な性格をよく表している。他人を誹謗し、脅し、害を加えておきながら、そのすべてが「自業自得である」と言って、自分自身は違法行為の責任を全く負おうとしないのは、ヤクザの論理である。ただし、この言葉はいずれ杉本氏自身に跳ね返るであろう。筆者自身は、報復行為を是認していないが、法律上、身を守る権利はある。筆者に対して杉本氏が行った全ての悪事は、いずれ二倍以上の重さになって杉本氏に跳ね返るであろう。

明日、金曜いっぱいまでに削除されない場合、本当にそう  
いたしますので、あらかじめ申し添えます。

こうして勝手に期限を切って、恫喝と共に一方的に削除を要求する厚かましき。ちなみに、こうした脅し文句を並べたメールは、十分に脅迫に該当する。このような文面を相手に送り付けば送り付けるほど、いざ裁判等が起きても、自分に不利な証拠が積み上がって行くだけだということが分からないとは、よほどの愚かさである。常に憎しみや憤りに満ち、感情の爆発を抑えられない人間であることがよく分かる。カルト化問題の解決法として、裁判を積極的に推進している者としても、あまりにも大きな失態であると言えよう。

180-0001

武蔵野市吉祥寺北町1-5-14

杉本徳久

07050127587